くきぶえ

第 131 号
2023年1月25日

社会福祉法人
魚沼更生福祉会
TEL (025) 793-7590
FAX (025) 793-7595
E-mail：uonumakousei@ar.wakwak.com
http://www.uonumakousei.com/
法人ホームページ携帯用はこちらから

「なんとかなるさ 大丈夫」

（新潟県立小出特別支援学校卒業生２名と前進路指導部 田野辺智光先生の作品です。）

翔太さんがのびのび描いた絵に、勇生さんがちぎった折り紙を貼るといい感じにモザイク模様になって絵が表情を増していきます。
その表情から何か語りかけているようです。
そこで思い浮かんできた言葉が『なんとかなるさ大丈夫』でした。
先行きの不安は尽きませんが、コツコツ歩んでいけば大丈夫という思いです。（田野辺）

変わるもの、変わらないもの

㈱魚沼オールパッケージ
常務取締役 工場長　小　幡　裕　之

あけましておめでとうございます。魚沼市青島の㈱魚沼オールパッケージの小幡です。

中国の武漢から新型コロナウイルス感染が広まって四年目に入っています。世界中で感染が拡大して多くの方が命を落とし、世界経済は停滞し多くの企業や人々に影響を与えています。

そんな中、ロシアのウクライナ侵攻により、以前よりあまり機能していなかった国連も完全にマヒ状態になり、世界の安全保障が脅かされています。食料価格高騰の問題もあります。何処まで、いつまで続くのか出口が全く見えません。多くの食料を輸入に頼っている我が国日本の食料自給率は三八％余りといわれています。そして肥料や飼料も輸入品です。自給率が高い米も肥料などが輸入できなくなると収穫量が六〇％も少なくなるといわれています。

余りにも変わりすぎて変化しないと生きていけない世の中になってきています。

そして企業経営も厳しい状況にあります。世の中の変化に対応して乗り越えていかなければなりません。企業が抱える問題も材料高騰、円安、材料入荷の遅れなど様々ではありますが、一番は働き手の従業員の方々だと思います。会社の活力は従業員の方々の活力そのものだと私は考えます。一人ひとり自信と誇りをもって活躍して欲しいです。

そんな世の中で変わらないで良いものもあります。人と人とのふれあいや思いやりなどは変わらない方が良いでしょう。幾ら生産力があっても殺伐とした工場では良いものは作れません。周りを気遣い協力できてこそ活気があり良いものが作れると思います。

長きにわたり我社の生産に協力いただいている、ひろかみ工芸様。多くのご利用者、職員の方々には日々助けていただいております。ご利用者の真剣なまなざしやひたむきさ、常に同じ仕事があるわけではありませんが、仕事の内容が変わっても皆さんの対応力、想像力にはいつも感心させられます。新しい仕事が入ると皆さんで練習をされていると伺っていますが、簡単なことではないでしょう。ご利用者の方々の分業制にも目を見張るものがあり、バラシ、組み込み、集め、結束、など自分の持ち場に全力で取り組み連携する姿は素晴らしいと思います。トラックが材料搬入や製品引取りに伺った際にも皆さんが協力して階段を何往復もし、玄関から二階へ運ぶ姿を拝見すると、申し訳ない気持ちと感謝の気持ちでいっぱいになります。

私どももひろかみ工芸様の活動のお手伝いが継続できるようしっかりと企業活動に励み、世の中の変化に対応してまいります。そしてこれからも変わらぬお付き合いをさせていただきたいと思います。

本年はうさぎ年。我社もひろかみ工芸様も、そして皆様も、うさぎのように飛躍の年になることをお祈りしております。

六花園

「お祭り楽しみました」

生活支援員　坂西　祐哉

感染予防を行いながら、今年度も沢山の活動を行いました。

三年ぶりの六花園祭ではパラリンピックで話題になった「ボッチャ」というゲームをしてきました。体育館でボールを力いっぱい投げました。

また外食や買い物にも行きました。公園で日向ぼっこをしながら、お店で選んだおやつをおいしく食べてきました。

六花園祭や外食などイベントも続き今まで以上にみんなの笑顔が増えました。活動を行うことの大切さを感じました。

新型コロナウイルスは未だ注意が必要です。しっかり予防を行いながら今後も活動していきたいと思います。

「ボッチャ」というゲームをしました！

公園でおやつを食べました！

かけはし

みんなで作ったフラワーブリッジ

ヘルパー兼指導員　荒井　優子

長岡市精神障害者デイサービス事業では週二回、精神障害を持つ方が安心して集い仲間との交流や趣味、創作活動を通して自信回復や社会参加を促進していくための活動の場を提供しています。

今年度は『かけはしアート展』に向けて、長岡花火を表現したちぎり絵を制作しました。「花火はこの位置がいいよ」「こんな色の花火はどうかな」などいろいろな意見が飛び出し、また作品制作中は集中して自分の担当部分を貼り続けていました。利用者さんの新しい面をたくさん発見することができ、とても素敵な作品に仕上がりました。ある利用者さんから「今回の作品を川口地域文化祭にも出展したい」とお話があり、地域活動に参加することができました。

これからも家から一歩踏み出す社会参加の場として貴重な日中の居場所になるように、そして人との繋がりや触れ合いを大事にできるようなきっかけの場にしていきたいと思います。

— 完成した作品 —
『フラワーブリッジ～平和への誓い～』

— 作品制作 —
とっても集中しています！

堀之内工芸

「笑顔」

生活支援員　井口　祥子

一昨年より育児休暇を取得した後、昨年九月一日付けで復職。再び生活介護事業を担当しております。

復職当初は不安な気持ちでいっぱいでしたが、利用者さんから「おかえり」「待っていたよ」「会えてうれしい」と声をかけていただけたことで、自分のことを待っていてくれる人たちがいるということは、本当に幸せで嬉しいことだと実感しています。

育児と生活支援員の両立は大変な部分もありますが、それでも仕事を頑張ろうと思えるのは、職場での毎日が利用者さんと職員の明るい笑顔と楽しそうな声で溢れているからです。

笑顔といっても一つではありません。日々の会話の中での暖かい微笑みや、楽しい気持ちを声に出した時の笑顔、美味しい食事を食べた時の口元のほころびなど、様々です。

ここに至るまでには、利用者さんとのコミュニケーションを大切にし、一人ひとりに寄り添った支援を目指して、職員がお互いにサポートしてきた経緯があります。

様々な面においてパワーアップし続ける堀之内工芸です。そのパワーに負けないように、これからも笑顔で目標に向かって進んで行きたいと思います。

忘年会で、クリスマスプレゼントをもらいました。

外食でお寿司屋さんに出かけました。

湯之谷工芸

きらりとした瞳

サービス管理責任者　岡部真智子

新しい年を迎えました。湯之谷工芸では、箱折作業の他にトイレットペーパー、手縫い雑巾、キャンドル、ラスク等を製品化して販売しております。昨年度も地域の皆様や企業様にご購入していただき感謝の気持ちでいっぱいです。また、昨年の秋に三年ぶりに開催した六花園祭では、湯之谷工芸の商品が完売した風景を利用者の皆さんが自分の目で見る事ができ、大変喜んでおりました。

六花園祭　完売！キラキラ✦

日々の作業の成果を喜びとして感じられたようです。「また製品を作っていくぞ！」と瞳をキラキラと輝かせ日々の作業に真剣に取り組んでいます。ここ数年は新型コロナの影響で楽しく過ごす時間の制限をしてきましたが、この先は、感染対策等をしながら余暇時間を増やして行きたいと思っています。

働くばかりでなく外出や食事を楽しみながらリラックスやコミュニケーションを図る機会を設け、更に利用者の皆さんの瞳がキラキラと輝くようにしていきたいと思います。

洒落たお店できらりランチタイム(^^)

日帰り旅行
ごちそうときらり♫カラオケ

まずは市内や近隣の地区でお楽しみを満喫できるような企画がいいですね。地域の皆様にはこれからもお世話になります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

久しぶりにドライブへ　次はいつかな？

鴨をみたかも！

ひろかみ工芸

「コロナ対策の中　一大イベント」

生活支援員　栗田　忠義

去る十二月三日、神湯温泉倶楽部で「クリスマス忘年会」を開催しました。

感染対策で色々と制限のある中での開催でしたが、利用者の皆さんは露天風呂やジェットバス等、久しぶりの温泉浴を大満喫。「いつもの風呂より長く入った」、「大きい風呂はいいなあ」と口々に話されていました。

その後のカラオケでは、演歌やムード歌謡から最新のアニメソングまで、それぞれの十八番を披露。定番のアイドルソングでは、若い方を中心にダンスが始まるなど、マスク越しでも大いに盛り上がりました。

はい、ポーズ

会席料理も久しぶり

カラオケの後はお待ちかねの昼食です。すき焼きの小鍋やお刺身、お蕎麦までついた豪華な御膳に一同大満足。デザートにはまるみやさんのショートケーキもつき、皆さん顔を見合わせてニッコリ笑顔でした。

食後はお楽しみのビンゴ大会。番号が読み上げられていく毎に、そこかしこから「リーチ！」「あー、まだだめだぁ」と一喜一憂の声が響き、見事最初のビンゴをそろえた方は大きなガッツポーズ。

最後にはしっかり全員に景品が行き渡り、皆さんそれぞれの景品を見せ合いっこ。ちょっぴり早いクリスマスプレゼントとなりました。

コロナ禍のため、思うように外出もままならなかった一年でしたが、最後は笑顔に包まれる忘年会ができました。

ビンゴ！

またたびの家

「またたびの家」の2022

二〇二二年を振り返り、メンバーさんからコメントをいただきました。

苗箱洗い
暑い中でも笑顔はクール

『暑くて大変だったけど、無事に終わってよかった。』（たつみ）

流しそうめん
眠っていた竹が復活!!

『初めての流しそうめん楽しかったよ♪またやりたい。』（みずき）

BBQ
肉はウェルダンで

『初めてまたたびの家の行事（BBQ）に参加して、肉を焼きました。焦げてしまった肉は職員のSさんが「おいしい」って食べてくれたからよかったです。雪が溶けたらまたみんなでやりたいです。』（かおり）

雨に打たれた秋の散歩

『散歩に出かけました。帰りに雨が降ったので、雨宿りをしながら「さといものうた」を歌いました。寒かったけど、心がポカポカになりました。』（M）

わかあゆ社

忘年会

生活支援員（主任）
三浦　貴子

今年度のわかあゆ社の忘年会は神湯温泉倶楽部で行いました。新型コロナウイルスで自粛が続き、三年ぶりの外出形式での忘年会でした。先ずは、大きなお風呂でゆったりと黙浴タイム。久しぶりの温泉に浸かって自然と笑顔になりました。心も体も温まったところで、忘年会がスタートです。十三品もある料理を食べながら、カラオケも楽しみました。マスクをしながらのカラオケでしたが、気持ちよく熱唱。リズムに合わせて手拍子やかけ声も自然と出てきました。久しぶりの楽しい光景がとても懐かしく、今まで以上に大切な時間となりました。

マスクで熱唱

「ハイ！チーズ」

地域における公益的取組について

公益的取組委員会では今年度の取組として、小学校夏休み中の八月十日と八月十九日、市内放課後学童クラブへ昼食のカレーライスの配達を実施しました。

委員会で検討していく中で放課後児童クラブ利用の保護者の「昼食づくり」が悩みとなっていることがわかり、低額で昼食を提供し、保護者の負担を少しでも軽くできれば、と計画いたしました。

食品製造を行っている事業所が調理を担当、他の事業所が配達し、法人全体で協力して取組を行いました。利用された子どもたちからは「おいしかった」「また食べたい」と大変うれしいお言葉をいただきました。

いただいたご意見を参考に、冬休み中の十二月二十七日にも昼食を配達させていただきました。引き続き皆さまから喜んでいただける取組を行っていこうと考えています。

◇六花園祭◇ たくさんのご来場ありがとうございました

地域の皆様からたくさんご来場いただき、九月二十三日(金・祝)に魚沼市中央公民館（堀之内）で開催しました。

あいにくの天気でしたが無事開催することができました

好評だった「くじ引き」景品には各事業所の逸品がせいぞろい

たくさんの地域の皆様がご来場くださいました

多くの方から事業所を知っていただく貴重な機会となりました。

法人職員研修について

【虐待防止研修】

十一月十一日(金)、上智大学総合人間科学部社会福祉学科の大塚晃特任教授から、「障害者虐待防止」をテーマにご講義いただきました。大塚氏は多くの障害者虐待事件を調査・検証されてこられました。その中で見えた問題と私たちが支援を行う中で起こりうる問題を具体的に示してくださいました。

日々の支援を思い浮かべとてもイメージしやすく、障害者虐待を絶対に起こさないために心がけていくことなどを再認識する良い機会となりました。

ZOOMでの講義受講の様子（六花園コミュニティーセンター）

【新任職員研修・フォローアップ研修】

今年度は、先輩職員が講師となり七名の新任職員が受講しました。

配属先以外の事業所での体験実習もあり、幅広い支援技術を身につけています。

研修で学んだことを再確認し定着度を高めるため、フォローアップ研修も行いました。

【実務研修】

今年度は四回にわたり開催しています。緊急時の対応、移動支援、食事支援、行動障害に対する支援、それぞれ有資格の職員などが講師となり職員のスキルアップを図っています。

《職員の動向》

【採用】

○令和四年七月一日付
かけはしヘルパー兼指導員（臨時）　遠藤　仁美

○八月十六日付
そよかぜ生活支援員　瀧澤　悟

○九月十二日付
六花園生活支援員　目黒　葉月

○十二月一日付
かけはしヘルパー兼指導員（臨時）　渡部美根子

○令和五年一月一日付
湯之谷工芸生活支援員（臨時）　佐藤志緒美

【退職】

○令和四年八月三十一日付
わかあゆ社目標工賃達成指導員　佐藤真由美

○十月十日付
堀之内工芸生活支援員　江頭ジョリマ

○十二月三十一日付
湯之谷工芸目標工賃達成指導員　五十嵐純子
湯之谷工芸生活支援員（臨時）　星　奈美

編集後記

二〇二三年明けましておめでとうございます。昨年は様々な規制が緩和されたこともあり、旅行やイベントに出掛けた方も多いのではないでしょうか。今年も色々なところが賑わうといいですね。（平谷）

「くさぶえ」は、魚沼更生福祉会後援会からの助成で発行しています。